

視点

令和8年度改定に向け 中医協の議論が始まる

厚労省が4月9日の中医協総会に令和8年度診療報酬改定に向けた検討スケジュールを提示。来年中旬の諮問・答申をめざして、改定論議がキックオフとなった。賃金・物価上昇への対応をはじめとして、課題は目白押しである。令和6年度改定は6年に一度の医療・介護・福祉の同時改定であったこともあり、ほぼすべての項目に手が入ったと言ってよいほどの大改定であった。まずは令和6年度改定の影響を検証し、必要な修正を行う必要があるだろう。入院医療では特に、急性期の機

能分化・連携を推し進めるため、7対1病床の基準を厳格にし、高齢者救急の受け皿となる地域包括医療病棟を新設するなどしたこと現場への影響に関心が集まる。外来医療では生活習慣病を中心とした管理料等の効率化・適正化が外来受診に与えた影響が注目される。かかりつけ医機能の制度整備は令和8年度から本格化するため、かかりつけ医機能を評価する診療報酬の整理は避けられない。医療機関が賃金・物価上昇に苦しんでいる。医療団体は補助金や期中改定がなければ、来年までも

たない医療機関が多数出てくると危機感を訴えている。令和6年度改定でも賃上げ対応に多くの財源を振り向けた。医療従事者の持続的な賃上げを保障するための診療報酬対応は不可欠だ。また、国会で審議中の医療法等改正法案では2040年を見据えた地域医療構想や医師偏在対策、医療DX推進の施策が盛り込まれており、これらと整合的な診療報酬での対応が求められる。診療報酬のあり方そのものに対する課題が指摘されるなかで、決すべき目の前の課題は多い。

社会保険旬報

目次

No.2962 2025年5月1日

視点

令和8年度改定に向け
中医協の議論が始まる 3

座標

病床削減補助金は5万床超の希望
全世代型社保の構築が不可欠 4
日病協が2026年度改定に向け要望書を提出
総務省が人口推計を公表 5

動向

物価・賃金の上昇に各種報酬で対応を
期中改定も視野に
一自民党・医療等を守る緊急集会 6

規制や指導監督、囲い込み対策の
議論をスタート
一厚労省の有料老人ホーム検討会 10

精神医療等、長期処方・リフィル
後発医薬品の状況
一令和6年度改定の結果を検証 14

霞が関と現場の間⑥

「果たして『戦後』は終わったか」
中村秀一 18

潮流

薬機法改正案を衆院厚労委で可決 19
医療扶助における長期収載品使用 20
妊娠婦支援の議論、取りまとめへ 21
6年度介護報酬改定の検証結果を報告 .. 22
自民党が次期年金制度改革の対応検討 .. 24

NEWS

東総協と東振協が定期総会 ほか 26

療養の給付の取扱い 31

資料

令和6年度改定結果検証の特別調査 39

年金の動き 41

編集室・ワードカプセル 42